
資 料

第 4 回
南山大学法学部・法科大学院—韓南大学校法科大学
学術交流会

南山大学法学部長 青 木 清

第 4 回南山大学法学部・法科大学院—韓南大学校法科大学学術交流会が、2006 年 11 月 1 日（水）から 4 日（土）にかけて、南山大学において開催された。今回は、韓南大学校から、李錫龍法科大学長をはじめ教授 3 名、助手 2 名、学生 22 名の総勢 27 名の訪問団を受け入れた。例年、20 名～25 名ほどの訪問団を相互に受け入れているが、今回は、いくらか多めの訪問団ということになる。

今回の交流会では、学術セミナーを「変革のすすむ日韓の会社法」というテーマのもと実施した。日本の会社法が大きく改正され、2006 年 5 月 1 日より施行されているところであり、他方、韓国では 2006 年 7 月に会社法に関する改正試案が提案されていた。こうしたことから、本学部の高橋真弓准教授が「日本における会社法典の制定とその概要」というタイトルで、また韓南大の韓鐵教授が「韓国株式会社法上の支配構造の変化——2006 年会社法改正試案の内容を中心に——」というタイトルでそれぞれ報告をし、それに基づき活発な質疑・応答が展開された。そこでの報告内容については、本号に掲載されている別稿を参照されたい。

この交流会のもう一つの柱である「文化交流」では、韓南大の学生たちを 5 グループに分け、各自に一日乗り放題の地下鉄切符を持たせた上で、南山大の学生の案内で一日名古屋市内観光を楽しんでもらった。各グループは、色々と知恵を絞り、また工夫を重ねて、名古屋を効率的にかつ目一杯堪能したようであった。

さらに、今回の特徴は、韓南大学校訪問団がわざわざ関西空港を利用して、到着日に大阪観光をした上で南山大学を訪れ、帰国日には朝 6 時に南山大を出発して京都観光をした上で帰国するという、極めてハードなスケジュールを計画し、実践したことにある。わずか 3 泊 4 日の来日ツアーなのに……である。韓国人パワーの



“物凄さ”をあらためて感じた次第である。

以下では、その強行軍の日程表を掲げておくこととする。

〈日 程 表〉

日 付	時 間	場 所	行 事
11月1日 (水)	9:50 11:35 22:00	仁川空港, 出発 関西空港, 到着 (大阪市内) 研修センター, 到着	大阪観光 出迎え
11月2日 (木)	8:30 9:30 10:00 11:00~11:20 10:00~13:20 12:00~13:20 13:30~16:45 17:00~	研修センター食堂 玄関ロビー集合 南山大学, 到着 学長室 学内 教授: 学外 A 棟 職員食堂 研修センター	朝食 大学への移動 (徒歩) 教授: 学長表敬訪問 学生: 学内見学 (大学祭中) および昼食 昼食 学術交流会 懇親会 大学から移動 (徒歩)
11月3日 (金)	7:30 8:30 9:00~11:00 11:00 11:30~14:30 11:30~14:30 14:30~ 20:00	研修センター食堂 研修センター, 出発 名古屋城 名古屋城, 出発 ホテルナゴヤキャッスル 東山荘 (名古屋市内) 研修センター, 集合	朝食 見学 教授: 昼食 学生: 昼食およびフルーツ演奏鑑賞 名古屋観光 夕食
11月4日 (土)	6:00 17:10 19:10	研修センター, 出発 (京都市内) 関西空港, 出発 仁川空港, 到着	見送り, 朝食用到天むすとお茶を用意 京都観光